

平成二十七年

十一月二十二日(日)

午後一時開演
住吉神社境内

押部谷 住吉神社

雅楽大祭

観覧無料

○古代日本から伝わる宮廷の音楽や歌舞をご鑑賞ください。
○お茶席あります。



雅楽大祭趣意

この度、現住吉神社宮司岡余志子が前宮司岡正雄の後を引継ぎ、お蔭をもちまして20年の節目を迎えることを記念して、雅楽の家元でもある宮内庁の先生方をお迎えし、雅楽大祭を斎行することとなりました。

この日本開闢以来、最も古い古事記の書に記載されている静かな山里で、古代の大和朝廷より続いた雅の音色に浸り、皆様方に楽しんでいただきたいと考えております。

住吉大神様の御神徳に感謝し、また今後の人生の活力をいただき、「天地の 神にぞ祈る 朝風の

海の如くに 波立たぬ世を」の如く平和と世の安泰を願っていきたいと思います。

雅楽大祭 曲目

- 御神楽 『人長舞 其駒』
管絃 『平調 越天楽・陪臚』
神楽 『住吉の舞』
朗詠 『紅葉』
舞楽 『狛龍』
舞楽 『太平楽』

《雅楽とは》

古くはアジア大陸から伝搬した歌と舞が新しく日本で完成した最も古い古典音楽です。今日の雅楽は、平安時代中期（十世紀）に完成したといわれています。楽器には打物（うちもの）、弾物（ひきもの）、吹物（ふきもの）があり、『世界最古のオーケストラ』と言われる。この三種の楽器群をそろえて演奏します。

《御神楽 人長舞 其駒》

御神楽とは皇居のなかの賢所や皇霊殿の前で天照大御神や歴代天皇をお慰めするために奏される祭祀のための音楽です。御神楽の儀式に従事する神楽人の長が舞うものを人長舞といいます。

《管絃 平調 越天楽・陪臚》

舞を伴わない器楽演奏を管絃といいます。『世界最古のオーケストラ』をお楽しみください。

《神楽 住吉の舞》

平成十六年の当住吉神社御鎮座千二百五十年祭を記念して作った舞です。

作 詞

元白峯神宮 名誉宮司

朝代神社 宮司 西村 尚先生

作 舞・作曲

元宮内庁式部職業部首席楽長

東儀 俊美先生

「住吉の 宮居に通ふ松風の

その煌めきは 常世のことし」



神楽『住吉の舞』

《朗詠 紅葉》

朗詠とは唐の漢詩に節を付け歌い詠む雅楽風の歌曲の事であり、日本で完成した朗詠は当時の中国と日本の合作とも言えます。

《舞楽 狛龍》

平安時代の後期には、ほとんど演奏されることなく、「秘楽」とされていた舞楽。天より降りた龍の勇壮に舞う姿をどうぞお楽しみください。

《舞楽 太平楽》

漢の高祖が項羽と鴻門で会宴したときの故事により作られました。天皇の御即位、大嘗祭大饗に奏されます。

押部谷 住吉神社 雅楽大祭

平成27年11月22日(日) 午後1時開演

住吉神社境内 観覧無料

客演：元宮内庁式部職業部首席学長 豊 英秋

元宮内庁式部職業部首席学長 大窪 永夫

演奏：天理教 教会本部 雅楽部

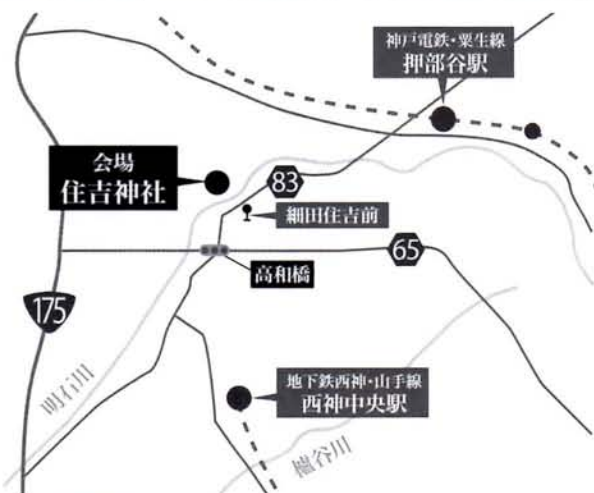
天理教 音楽研究会 雅楽部

天理大学 雅楽部・住吉神社 巫女

■お問い合わせ：住吉神社

〒651-2207神戸市西区押部谷細田302

TEL/FAX 078-994-4406



交通

神姫バス西神中央・押部谷駅・緑が丘行き
「細田住吉前」下車北へ徒歩3分

車でもお越しいただけます